

インプラント  
ニュース



since 1972  
Japanese Society  
of Oral Implantology

第22号

平成27年8月10日発行

# Implant News No.22

公益社団法人 日本口腔インプラント学会会報

発行人 渡邊 文彦 編集 公益社団法人 日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局 〒108-0014 東京都港区芝4-3-5 ファースト岡田ビル8F

TEL. 03-5765-5510 FAX. 03-5765-5516

HP : <http://www.shika-implant.org/> Eメールアドレス : [jsoi@peace.ocn.ne.jp](mailto:jsoi@peace.ocn.ne.jp)

【本号のトピックス】

第45回学術大会迫る、平成26年度各種専門資格合格者、  
支部学術シンポジウム報告、トピックス など

## 第45回日本口腔インプラント学会学術大会開催の挨拶 —美しい学都・岡山によろこそ—

大会長 窪木 拓男

第45回学術大会を岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野が担当させていただくことになりました。岡山での開催にあたり、多数の関係者にご尽力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。9月21日(月)は岡山シンフォニーホールを中心に倫理委員会セミナー、専門医教育講座を開催致します。9月22日(火)、23日(水)は、駅周辺のホテルやコンベンションセンターをコンプレックスとして、特別講演、シンポジウム、一般口演、ポスター発表、企業展示等を開催致します。同時進行の企画が多数となることから、今回は今までにない学術大会支援電子ツールを準備しております。また、シンガポールから世界屈指の臨床家といわれているDr. Wongにお越しいただくなど、大変魅力あるプログラムが組まれており、渡邊理事長、古谷野学術委員長、前田国際渉外委員長をはじめとした関係各位に心から感謝を申しあげる次第です。

さて、本邦は超高齢社会を迎え、口腔機能の向上は国民の生活の質に直結する大きな目標と考えられています。このような中で高齢者の「食」を基盤とした健康増進、介護予防、虚弱予防は、目下の大きな課題となっています。口腔インプラントは、このような超高齢社会において、適切かつ効果的に利用されれば、大きな武器たり得ると考えられます。本大会のテーマに、健康維持と口腔インプラント治療—口腔インプラント治療のメリットを再考する—と

掲げたのはこの様な理由からです。更に言うと、口腔インプラントという治療オプションがあることが当たり前になった昨今、改めて口腔インプラントがもたらした歯科治療におけるメリット(残存歯の保護効果、複雑な補綴装置の回避、口腔関連QOLの向上、治療の高い永続性等)を再評価する必要があると考えております。一方で、不適切な使用や無責任な対応は患者に害を与える可能性も指摘されています。特に、超高齢社会における口腔インプラントのあり方は、これまでの外来患者を中心とした歯科治療の知識では対応できない、より包括的な医療を内包するものになると考えられます。本大会を通じて、口腔インプラントの最新のイノベーションを先生方と共有するとともに、超高齢社会における問題点や対応策も議論したいと考えております。ぜひ、多数の方にご参集いただき、原点に立ち返って口腔インプラントのあり方を考えてみたいと思います。

岡山は、中国四国地区の交通の要所に位置し、山の幸、海の幸に恵まれております。また、三大名園の一つである後樂園を擁しており、竹久夢二の生家等、多くの観光地に恵まれております。近隣には倉敷という大変人気のある国際観光都市も控えております。このような美しい学都・岡山で、学術活動はもとより、素晴らしい秋の季節を満喫していただきますようお願いし、ご挨拶に代えさせていただきます。

# 第45回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会

**テーマ：健康維持と口腔インプラント治療 口腔インプラント治療のメリットを再考する**  
 2015年9月21日(月・祝)～23日(水・祝)

**会場：**ホテルグランヴィア岡山  
 〒700-8515 岡山県岡山市北区駅元町1番5 TEL:086-234-7000(代表)  
 岡山コンベンションセンター  
 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14-1 TEL:086-214-1000  
 岡山シンフォニーホール  
 〒700-0822 岡山県岡山市北区表町1-5-1 TEL:086-234-2001  
 岡山シティミュージアム  
 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15-1 TEL:086-898-3000

**大会長：**窪木 拓男(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野)  
**実行委員長：**前川 賢治(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野)  
**準備委員長：**秋山謙太郎(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野)

## 主要プログラム

21日 (月・祝)	午後	<b>■倫理委員会セミナー</b> 医療倫理と医療安全 伊東隆利	<b>■専門医教育講座</b> 超高齢社会における口腔インプラント学会専門医の責務とは ー最期まで患者に寄り添った治療を行うためにー 窪木拓男
		<b>■海外特別講演1</b> 包括的な審美歯科医療と口腔インプラント Keng Mun Wong	<b>■シンポジウム1</b> インプラント審美補綴の最前線 天然歯との長期的調和・共存のために 小濱忠一, 田中秀樹
		<b>■シンポジウム2</b> ビスフォスフォネート関連骨壊死(BRONJ)の発症と治療法を見直す 高畑雅彦, 山下潤朗, 岸本裕充	<b>■シンポジウム3</b> インプラント治療の到達目標を考える ー歯科衛生士とも共有すべき口腔機能の改善に関する知識ー 菅井敏郎, 五十嵐 一, 阿部伸一
22日 (火・祝)	午前	<b>■シンポジウム4</b> 歯の保存かインプラントか 下地 勲, 萩原芳幸, 福西一浩	<b>■シンポジウム5</b> インプラント外科における超音波切削器具の応用 香月 武, 白鳥清人, 嶋田 淳, 古谷義隆 共催: 日本顎顔面インプラント学会
		<b>ランチョンセミナー</b>	
		<b>■海外特別講演2</b> 骨バンクを利用した同種他家骨移植とインプラント治療 Grzegorz Zietek	<b>■国際誌委員会セミナー</b> 国際誌に掲載される論文とするにはその注意点 関根秀志
	午後	<b>■International Session1</b> Long term prognosis of implant treatment and influencing factors Karl Ludwig Ackermann, Pakawat Chatriyanuyoke, Hsieh Tsung-Lung, Kwon Jong Jin	<b>■International Session2</b> Implant placement and bone and soft tissue reactions Frank Schwarz, Seong-Joo Heo, Gerhard Iglhaut
		<b>■シンポジウム6</b> 硬組織, 軟組織造成法と長期予後に関するコンセンサス 石川知弘, 中田光太郎	<b>■シンポジウム7</b> 口腔インプラント治療や歯科治療は, 生物学の進歩によってどう変わるか 江草 宏, 岩本容泰
	<b>イブニングセミナー</b>		
<b>懇親会</b>			

		モーニングセミナー	
23日 (水・祝)	午前	<b>■教育講演</b> 臨床の疑問に答える 吉成正雄, 鮎川保則, 馬場正英, 権田知也, 水木さとみ, 十河厚志	<b>■専門歯科衛生士セミナー</b> 在宅におけるインプラントのメンテナンスについて考える 山口千緒里, 藤野智佳子
		<b>■専門歯科衛生士教育講座</b> 初診時からインプラント埋入手術に至るまでの歯科衛生士の役割について 篠原こずえ	<b>■専門歯科技工士セミナー</b> 歯科技工士が知らなければいけないインプラント周囲炎 佐藤琢也, 柏井伸子
		<b>■専門歯科技工士教育講座</b> インプラント治療におけるデジタル歯科技工の現状と展望 樋口鎮央	<b>■シンポジウム 8</b> インプラントの咬合付与について 尾澤昌悟, 松下恭之, 馬場一美, 田邊憲昌 共催: 日本補綴歯科学会
		<b>■シンポジウム 9</b> インプラント周囲炎を再考する — 予防から治療まで — 堀内克啓, 竹内康雄, 石本光則	<b>■シンポジウム 10</b> 欠損形態から考えるインプラント治療の効果と適応症 — インプラント治療で改善できること, できないこと — 宮地建夫, 鷹岡竜一, 武田孝之
		<b>■シンポジウム 11</b> インプラントとペリオの軟組織マネージメント: Plastic surgery 西田哲也, 松井徳雄, 北島 一	
		ランチョンセミナー	
午後		<b>■市民フォーラム</b> 口腔インプラント治療のメリットを再考する 窪木拓男, 鈴木秀典, 荒川 光	<b>■若手インプラントロジストセッション</b> 新名主耕平, 豊嶋健史, 荻野洋一郎 兒玉直紀, 寺本祐二, 熱田 生
		<b>■認定・試験・編集委員会セミナー</b> 専修医・専門医・指導医資格取得のためのガイダンス 永原國央, 又賀 泉, 藤井俊治	<b>■シンポジウム 12</b> インプラント治療におけるデジタル・デンティストリーの応用 寺本昌司, 加来敏男, 梅原一浩, 宮崎 隆 共催: 日本歯科放射線学会 日本デジタル歯科学会
		<b>■シンポジウム 13</b> 超高齢社会においてインプラントは是か非か? 田中譲治, 林 揚春, 大野 彩, 菊谷 武	

大会参加登録: 8月17日(月) 正午で締め切りました

資 格		当 日
正会員	歯科医師, 一般	20,000 円
	歯科技工士・歯科衛生士	9,000 円
非会員	歯科医師, 一般	25,000 円
準会員・非会員	歯科技工士・歯科衛生士, コデンタルスタッフ	9,000 円
	学生(大学院を含まず)	3,000 円
懇親会		12,000 円

学会事務局  
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
 インプラント再生補綴学分野

運営事務局 (お問合せ先)  
 株式会社日本旅行 中四国コンベンショングループ内  
 〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町 2-1-7  
 JR 西日本岡山支社ビル1階  
 TEL: 086-225-9281 FAX: 086-225-9305  
 E-mail: jsai45@kyodo-mice.jp

### 平成 26 年度研修施設長，施設名変更

- ・(旧) 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院  
長岡英一  
⇒(新) 鹿児島大学病院歯科インプラント外来  
西村正宏
- ・(旧) 奥羽大学歯学部附属病院口腔インプラント外  
来 山森徹雄  
⇒(新) 奥羽大学歯学部附属病院口腔インプラ  
ント科 関根秀志

### 平成 26 年度研修施設長名変更

- ・(旧) インプラント再建歯学研究会 定永健男  
⇒(新) インプラント再建歯学研究会  
藤野 茂
- ・(旧) 一般社団法人日本インプラント臨床研究会  
井汲憲治  
⇒(新) 一般社団法人日本インプラント臨床研究会  
田中譲治
- ・(旧) 名古屋大学医学部附属病院歯科口腔外科  
上田 実  
⇒(新) 名古屋大学医学部附属病院歯科口腔外科  
日比英晴
- ・(旧) 香川大学医学部附属病院 歯・顎・口腔外科  
松井義郎  
⇒(新) 香川大学医学部附属病院 歯・顎・口腔外  
科 三宅 実

### 平成 26 年度指導医合格者

- 及川 均 (関東・甲信越)
- 八木原淳史 (関東・甲信越)
- 渡沼敏夫 (関東・甲信越)
- 入江修充 (関東・甲信越)
- 井上一彦 (関東・甲信越)
- 黒田真司 (関東・甲信越)
- 岡本俊宏 (関東・甲信越)
- 松尾 朗 (関東・甲信越)
- 植野高章 (近畿・北陸)
- 武知正晃 (中国・四国)
- 松下恭之 (九州)

(以上 11 名)

### 平成 26 年度専門医合格者

- ▼東北・北海道支部  
渡辺理平， 永澤義安， 小林 恒， 高木浩二  
杉村佳洋
- ▼関東・甲信越支部  
岩本麻也， 西方 淳， 中川威彦， 高梨琢也  
細野拓生， 飯島俊彦， 清水礼子， 渡具知 稔  
湯浅慶一郎， 中島康裕， 下尾嘉昭， 服部重信  
唐木俊英， 加藤嘉哉， 前川修一郎， 山内大典  
吉野 晃， 高井貞浩， 遊佐 浩， 芦澤 仁  
相田 聡， 西村孝太， 木村智憲， 石井通勇  
渡辺泰典， 星野 元， 安藤正実， 小宅宏史  
鶴見和久， 岡本俊宏， 松尾 朗
- ▼中部支部  
加藤麦夫， 岩附慎二， 大門弘治， 岩下栄木  
井澤篤義， 匠原龍太郎， 近藤雅浩
- ▼近畿・北陸支部  
植野高章， 大前款嗣， 宮本浩三， 小林靖宜  
吉田 真， 古谷昌義， 三田村聡， 上西研二  
栗本武俊， 河村達也
- ▼中国・四国支部  
藤田温志， 井山禎之， 大野 彩， 武居良裕  
青木 健， 石田雄一， 木谷憲輔， 鎌倉 聡
- ▼九州支部  
郡 英寛， 森永大作， 山田潤一， 林 文仁  
市丸英二， 四倉清仁， 伊藤 剛， 重松正仁  
永井省二， 濱田真人， 山辺 滋， 松山孝司  
原 哲三， 野々山和弘， 新崎博文， 中村智彰  
田島暢崇， 入江彰彦， 豊嶋健史

(以上 80 名)

### 平成 26 年度インプラント専門 歯科衛生士合格者

- ▼東北・北海道支部  
藤澤こず恵， 足立秀美， 菊池幸恵， 三上愛実  
山田真紀， 渡邊千佳， 及川由夏， 中野淡由美  
西尾美和子， 道原美保， 皆川和美， 横塚 希
- ▼関東・甲信越支部  
柳澤真貴子， 君山亜沙美， 齋藤加奈枝， 下里麻美  
葉梨亜耶， 吉川香奈， 宮沢利恵， 稲葉美穂  
大出麻依， 尾島梨沙， 門倉美樹， 木下美咲

今野 彩, 高田和江, 高橋 恵, 高松 緑  
 滝井晶子, 田中 愛, 村上絵美, 森倉さやか

▼中部支部

柘植静香, 長尾小春, 永椎美希奈, 堀江佳代  
 宮嶋友理, 伊藤沙妃, 牧野真由美

▼近畿・北陸支部

山田怜美, 中西祐美子, 益山沙也香, 谷内口佳代  
 大森あかね, 工藤彩加, 篠原千恵, 鶴田由美子  
 西田侑加, 西村里織, 二見育代, 安井麻美

▼中国・四国支部

河本智子, 栗林雪実, 高國恭子, 高橋亜矢子  
 山中美幸

▼九州支部

高崎安衣, 浜田聡美, 平塚美智代, 岩下菜々

西田美穂, 山城里奈, 愛川敦子, 小柳朋美  
 (以上 64 名)

平成 26 年度インプラント専門  
 歯科技工士合格者

▼東北・北海道支部

足立識之

▼関東・甲信越支部

工藤弘一朗, 秋葉幸平, 紀野仁志

▼中部支部

横江 誠 (以上 5 名)

公益社団法人日本口腔インプラント学会  
 第 6 回関東・甲信越支部学術シンポジウム報告



平成 27 年 8 月 2 日 (日) 日本歯科大学生命歯学部富士見ホールにおいて、第 6 回公益社団法人日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術シンポジウムが開催されました。猛暑にも拘わらず 380 名の参加者を迎え、大変な活況でした。このシンポジウムは新進気鋭の若手臨床家や研究者に思いの丈を込めた発表を行ってもらい、ディスカッションで実相を余さず詰めていくことを本旨としています。今回も「超高齢社会とインプラント」というメインテーマのもと、2 名のベテランの先生による特別講演と 6 名の若手による講演が行われました。

今年は「高齢者」や「超高齢社会」をテーマとした講演や企画が目白押しで、本学会の「口腔インプラ

ント専門医臨床技術向上講習会」でも同様のテーマが取り上げられています。したがってこのシンポジウムでは他に無い特色を出すために一手間を加えました。まず前半では、上條竜太郎先生に「生命科学の視点から見る口腔インプラント」というタイトルで骨代謝研究の立場からの展望を講演頂いた上で、関 啓介先生に「インプラント周囲組織と加齢変化」、野村智義先生に「認知機能障害の視点から超高齢社会におけるインプラント治療を考える」、田村暢章先生に「安心で安全なインプラント治療のために高齢者のメディカルリスクにおいて考慮すべきポイントについて考える」といったタイトルで、超高齢社会へ向かって我々が弃えておくべきものを抽出

して頂きました。

さらに後半では、高森 等先生に「Osseointegrated implant 治療について」というタイトルで積年のインプラント治療から導かれた智見を講演頂いた上で、松井新吾先生に「在宅療養中の患者に私たちはどこまで介入できるのか」、遠藤眞美先生に「高齢者にお

ける口腔乾燥～「砂を咬むようだ」という患者さんの訴えの裏にあるもの～」、今 一裕先生に「インプラント治療と高齢者の摂食嚥下の回復」といったタイトルで、「超高齢社会」が我々に突きつけているものの認識と対応を講演して頂きました。

午前、午後ともにディスカッションに40分を割いて充実した討議が行われました。歯科医療での問題解決のエキスパートを任じてきたインプラント治療が、社会環境の変化とともに問題の要因へと立場が転じる可能性のあることがあらためて詳らかにされたシンポジウムであり、このテーマを新たに掘り下げていくことの必要性が認識されました。

大会長 塩田 真

副大会長 志賀泰昭

実行委員長 笹谷和伸

副実行委員長 廣安一彦



## 指定研修施設紹介

### 九州インプラント研究会 (KIRG)

会長 伊東隆利

#### はじめに

九州インプラント研究会は、1985年4月に故 添島義和先生(本会前会長)と末次恒夫 元九州大学歯学部部長との合意の下に創立され、2015年で30年の歴史を誇ることとなります。

この30年間、九州インプラント研究会では、臨床系の会員の疑問に大学研究系の会員が応える、また大学・研究系の会員と臨床系会員が最新の世界トップレベルの情報を共有して口腔インプラントの知識の習得・技術の向上、人間性の涵養を目指してきました。

来年(2016年)の3月26日(土)・27日(日)に福岡国際会議場で30周年記念学術講演会を開催する予定で、会の30年間の活動を振り返り、その中から得られたものを新世代に伝えようと企画しています。30年の中には近代インプラント黎明期から成長期、発展期、インプラントバッシング後の反省期を含む歴史を包含しています。

会員は臨床系(開業)会員21名、大学・研究系会員8名の29名の少数精鋭であります(平成27年8月現在)。会員は、インプラントはもとより、補綴、

外科、歯周病、麻酔とその分野のスペシャリストであり、現在臨床系に限っても日本口腔インプラント学会指導医5名、専門医20名、認証医1名であり、他分野では日本補綴歯科学会指導医3名、日本口腔外科学会指導医1名、日本歯周病学会指導医1名、専門医6名、日本歯科麻酔学会認定医2名が含まれています。

#### 日本口腔インプラント学会認定研修施設としての活動

1985年にスタートして10年目の1995年から、学会に専門医制度が創設されることに伴い、九州インプラント研究会は研修施設として認定を受けました。

当時九州では唯一の認定施設でありました。100時間というものの130時間を超すカリキュラムを設定し、講師陣は会員だけに限らず広く全国のその道のエキスパートを求めました。

4月の開講式に始まり、11月まで月に2日間8回のコースを設定しています。

現在21期生が進行中で1～20期まで各期20～24名が修了し、420名に達しています。修了後約70%の方は九州インプラント研究会研修修了会員となっただき、専修医、専門医、指導医を目指すこととなります。



これまで専修医 54 名，専門医 69 名，指導医 6 名が誕生し，インプラント分野を率先する人材の輩出を行っています（平成 27 年 6 月現在）。

### 研究会としての研修活動

会員同士の研究会は年 4 回，1 日かけたディスカッション中心の日を送ります。1～2 名のケースプレゼンテーションを徹底的に深読みし，切磋琢磨いたします。大学研究系会員から海外論文の抄読を通して最新の情報と EBM (Evidence Based Medicine) に基づいた考え方を身につけます。夏の例会は会員が持ち回りで企画し，故 添島義和 前会長の，家族を大切にしなければならないという考えをもとに，家族を含めた小旅行を兼ねて開催しています。

年 1 回は会員と研修修了会員を含めた学術講演会を開催し，教育講演，特別講演，会員発表，模擬ケースプレゼンテーションを 1 日がかりで行います。とりわけ模擬ケースプレゼンテーションは学会ケースプレゼンテーションの予行演習として位置づけ，会員が徹底的に指導いたします。

会員の所属スタッフの勉強会として歯科衛生士部会があり，学術講演会と合同で開催し，年に 1 回は単独で講演会を開き，インプラント臨床を支えるべく研修をしています。

### 節目の年に記念学術講演会を開催

1995 年に 10 周年，2005 年 20 周年，2010 年 25 周年記念学術講演会をそれぞれ 2 日がかりで開催し，世界のトップレベルのインプラントロジストを招いての特別講演，会員の発表，ポスターおよび企業展示など一瞬どこかの学会かなと思うような充実ぶりです。

2016 年 3 月 26・27 日に 30 周年記念学術講演会を開催し，特別講演，ポスター発表，歯科衛生士部門・歯科技工士部門を予定していますが，詳し



くは九州インプラント研究会ホームページ (<http://www.kirg-implant.jp>) をご参照ください。

### 学会活動と学会支援

本会の会員には，日本口腔インプラント学会の会長，副会長，常任（常務）理事，理事，代議員（評議員），九州支部長など役職を多くの方が歴任され，現在も各種委員会で活動しています。

学会の学術大会においても，平成 19 年に第 37 回日本口腔インプラント学会総会で添島義和先生が大会長として運営の中心メンバーを果たし，九州支部大会等でも会員は積極的に参加，本学術大会と共に特別講演，教育講演，シンポジスト，一般発表等で活躍しています。

### 国際交流

会員は積極的に国際学会に参加し，特別講演，一般発表などに活躍しています。添島義和先生が ITI の名誉フェローになられたことは我々会員の最も誇りとするところです。

ドイツ，フライブルグ大学 故クリケラー教授は生前，本会の会員として名を連ねていただき，常に会員に刺激を与えてくださいました。

香月 武先生（佐賀大学名誉教授）はベトナム・ラオス・スリランカ・アフリカにて，松浦正朗先生（東京歯科大学客員教授）は中国および韓国にて，学術講演や医療技術援助を行っています。

会員の第 2 世代も活発にアメリカ，ドイツへと留学体験を重ねています。これからの新世代が楽しみです。

### 終わりに

日本口腔インプラント学会の皆様には，今後とも九州インプラント研究会をよろしくご指導いただこうお願いいたします。

## 兵庫医科大学歯科口腔外科

施設長 岸本裕充

### 沿革

兵庫医科大学病院は昭和47年4月に兵庫県西宮市に開設され、特定機能病院・阪神地区の地域中核病院(963床)としての役割を担っています。

兵庫医科大学歯科口腔外科学講座は昭和54年9月に初代吉岡濟教授によって開講され、平成8年8月より第2代浦出雅裕教授、平成25年4月より第3代として岸本裕充教授によって受け継がれています。兵庫医科大学に歯学部を併設する構想のあった名残で、口腔外科をメインとしながらも、一般歯科の診療・研究・教育も充実を図ってきました。

その中で、岸本教授が平成9年にインプラント外来を立ち上げ、平成16年11月に高度先進医療(インプラント義歯)の承認、そして平成23年4月に日本口腔インプラント学会認定施設の承認を受けることができました。

### 当科でのインプラント治療

特定機能病院であるため、インプラント治療も例外ではなく、地域のかかりつけ歯科からの紹介患者であることを原則とし、当科でもフォローいたしますが、かかりつけ歯科でのメンテナンスをお願いしています(紹介元との2人主治医制)。サイナスリフトなどの骨造成治療をはじめ、インプラント関連手術は口腔外科専門医が担当しています。

また、口腔癌、外傷、骨髄炎によって広範囲の顎欠損を生じた患者の補綴治療を重点的に行っています。形成外科、放射線科、リハビリテーション科の協力を得て、切除後の顎骨再建、広範囲顎欠損補綴も含めた症例検討会を行っています。特に、形成外科との協力体制は良好で、顎骨の3次元実体模型を製作し、遊離骨皮弁を用いた顎骨再建治療を支持していただいています。広範囲顎欠損補綴の上部構造は、当科の顎顔面補綴学会認定医、補綴学会専門医が担っています。

### 当科の特色をインプラント臨床へも還元

1) ビスフォスフォネートに代表される骨吸収抑制薬に関連する顎骨壊死(medication-related osteonecrosis of the jaw: MRONJ)の治療と研究に力を入れており、他府県からも多くの紹介患者を受け入れるとともに、最新の情報の発信を行っています。



超高齢社会を迎え、インプラント治療のメンテナンス期に骨吸収抑制薬の投与が開始される、という事例は珍しくありません。骨吸収抑制薬の投与が必要な患者には、それを歯科的にサポートする責務があります。インプラントが良好に経過していれば、おそらく何ら問題は無いのですが、インプラント周囲炎のようなトラブルを有する場合、これがMRONJ発症の原因となったと思われる症例を経験するようになってきました。骨吸収抑制薬の投与開始時には、インプラント部分をどのように管理していくかという的確な判断力が要求されます。

2) がん治療を受ける患者に対する「周術期口腔機能管理」は、当科が全国に先駆けて取り組んで来ました。がん患者に対する抗がん剤治療は日進月歩で、新規抗がん剤が続々と承認・使用されています。抗がん剤の一種である分子標的薬の中には1)のMRONJのリスク因子となるものがあり、一般に宿主の感染防御能を低下させると考えておくべきです。抗がん剤だけではなく、現在増加傾向である糖尿病や慢性腎臓病のような全身疾患による骨代謝異常が、インプラント治療のリスクに繋がるという連想がインプラント治療医には必要になってくると思われれます。

以上のような、医学部歯科口腔外科ならではの医科との関わりが多い立場から、インプラントの臨床・研究・教育に還元しています。当講座の非常勤講師である吉竹賢祐先生、野阪泰弘先生の協力も得て、口腔外科医の立場から、インプラント治療に携わる歯科医に向けた書籍を今秋の発行に向けて取り組んでいます。(文責 歯科口腔外科学講座講師/医局長 高岡一樹)



※発行前の仮イメージで、書名、デザインが変更される可能性があります。



# インプラントカードの紹介

医療・社会保険委員会 佐藤裕二

超高齢社会に突入し、要介護高齢者の増加に伴い、歯科訪問診療でのインプラント管理の必要性も高くなってきています。また、インプラントの種類が増加とあいまって、どのようなインプラントが患者に使われているのかを知ることは、インプラント治療の継続や管理に重要となってきています。

本学会では、これに対応するために、治療終了時に治療内容を記した「インプラントカード」を作成し、学会ホームページに掲載しています。(このたびに発行される「口腔インプラント治療とリスクマネジメント」という小冊子でも紹介しています。)

本学会のインプラントカードの特徴は、以下のとおりです。

- 将来のデータベース化を視野に入れている
- コンパクトサイズ(名刺二つ折り)
- 歯科医院のQRコード入り(オプション)
- パノラマ写真入り(オプション)
- 歯式図入り(手書き)
- PCで入力し、データを保管できる。追記できる(再発行)
- 安価なインクジェットプリンタ使用可能



- 入手容易な汎用カード用紙使用
  - 日本顎顔面インプラント学会の国際インプラント手帳とのある程度のデータ互換性
- (※この手帳は、埋入後に記入し、埋入のトラブルの際に使用することが主眼です。)

下図は、エクセル上でデータを入力している画面です。詳細な使用マニュアルおよびデータ入力用ファイルはホームページからダウンロードできます。ご利用頂いた皆様のご意見をもとに、改訂を継続したいと思っております。なお、あわせて、「インプラント治療のためのチェックリスト」もダウンロードしてご活用下さい。



Nb	部位 Position	埋入 Surgery	装着日 Final	直径/長さ φ/L	メーカー名 Company	インプラント Implant	ドライバ Driver	コード Code	その他 Others
Ex	36	2013/9/18	2013/11/19	3.75/10	Nobel	Mk IV	Stargrip	K10426011	w,TC,B
1	36	2012/1/30	2012/9/18	4.0/11	NOBEL BIOCAR	Nobel Active	Stargrip	K10426011	Si,TC,B
2					NOBEL BIOCAR				
3					OSSTEM				
4					PLATON JAPAN				
5					STRAUMANN				
6					THOMMEN				
7					ZIMMER DENTAL				
8					OTHERS				
9									
10									

I:インプラントImplant, N:天然歯NaturalTooth, M:欠損Missing, C:連結Connected, Si:単独Single  
 Sc:スクリュー固定screw, FC:セメント固定FinalCement, TC:仮着TemporaryCement, RD:可撤義歯RemovableDenture  
 RB:可撤ブリッジRemovableBridge Au:骨造成Augmentation, M:人工材料Material, B:自家骨BoneGraft

# IADR IRG-JSOI New Investigator Research Awards の 創設

IADR Implantology Research Group Director

澤瀬 隆

歯学研究の最大の国際学会である International Association for Dental Research (IADR, 国際歯科研究学会)の Scientific group の一つである Implantology Research Group (IRG) において、日本口腔インプラント学会 (JSOI) がサポートする Joint Awards が 2015 年に創設されました。本 Award はその名の通り、インプラント研究を志す若手研究者の育成ならびに支援を目的としています。応募資格は発表時点で 3 年以内に、歯学部、歯科大学を卒業、もしくはレジデンスプログラム (研修医) か博士課程を修了した者で、かつ IRG のメンバーでなければなりません。Award には、臨床疫学、臨床研究を含む“クリニカルリサーチ”と実験的研究やアニマルリサーチを含む“ベーシックリサーチ”の 2 つのカテゴリがあり、それぞれのカテゴリで、最優秀者には 1000 ドル、次点には 500 ドルの賞金が、プラークとともに付与されます。

2015 年 3 月ボストンで開催された IADR における本 Award 選考スケジュールでは、前年の 10 月初旬に IADR 所定の様式で Abstract 申請とともに、Award 申込が行われました。事前審査の上で候

補者には、1 月下旬締切で、4 ページの Extended Abstract とともに、学部長、病院長もしくは研究科長の署名のある研究歴の証明書と IRG メンバーのナンバーの提出が求められます。有資格者との確認された後、Abstract と Extended Abstract はあらゆる観点から IRG Awards Committee にて審査され、受賞者が決定されました。2015 年は最初の年であり、アナウンスが十分でなかったため“クリニカルリサーチ”部門の応募がなく、“ベーシックリサーチ”2 名のみを選考となり、JSOI 国際渉外委員の池邊一典先生 (大阪大) からプラークと賞金が贈呈されました。2016 年ソウル開催の IADR 大会における“IRG-JSOI New Investigator Research Awards”の詳細に関しましては、IADR ホームページ“Awards”タブの“Group Awards”をご覧ください。

本 Award は口頭でのインタビューや質疑応答が無く、全てが書類選考で行われるため少々英会話に自信がない方にも大いにチャンスがあります。次回の IADR は隣国ソウルでの開催です。是非 JSOI の多くの若手研究者からの応募をお待ちしております。



## 平成 27 年度学術大会のお知らせ

支 部	開催日・大会長	会 場	大会事務局
第35回 東北・北海道 支部大会	平成27年 11月21日(土)～11月22日(日)  大会長:古澤利武 東北口腔インプラント研究会 『インプラントの原点に戻る』	仙台国際センター  〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL:022-265-2540 FAX:022-265-2485	古澤歯科医院内 山下 忍  〒982-0001 宮城県仙台市太白区八本松1-7-42 古澤歯科医院 TEL:022-249-5131 FAX:022-248-2607 Email:firi@amber.plala.or.jp
第35回 関東・甲信越 支部大会	平成28年 2月13日(土)～2月14日(日)  大会長:渡沼敏夫 NPO法人埼玉インプラント研究会 『これからのインプラント治療 -日常臨床としてのインプラント-』	京王プラザホテル  〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 TEL:03-3344-0111(代表) FAX:03-3345-8269(フロント)	日本コンベンションサービス株式会社 東京コンベンション事業部 メディカル部 川田 祐輝  〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階 TEL:03-3508-1214 FAX:03-3508-1302
第36回 中部 支部大会	平成27年 11月14日(土)～11月15日(日)  大会長:伊藤幸司 愛知インプラントセンター 『多角視したインプラント治療 -顎位を再考する-』	ウインクあいち  〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL:052-571-6131 FAX:052-571-6132	もみの木歯科 村田幸一郎  〒515-0002 三重県松坂市郷津町151-7 TEL:0598-50-0150 FAX:0598-50-0155 Email:Mkm0720@mctv.ne.jp
第35回 近畿・北陸 支部大会	平成27年 12月12日(土)～12月13日(日)  大会長:相岡宣好 医療法人社団すぎおか歯科クリニック 『健康寿命を支えるインプラント治療 ～超高齢社会への対応～』	北國新聞 赤羽ホール  〒920-0919 石川県金沢市南町2番1号 TEL:076-260-3555 FAX:076-260-5063	野々市歯科クリニック 瀬尾尚弘  〒921-8815 石川県野々市市本町3-9-12 TEL:076-220-6977 FAX:076-220-6977 Email:info@ishikawa-implant.com 大会HP: <a href="http://www.ishikawa-implant.com">http://www.ishikawa-implant.com</a>
平成27年度 第45回 年次学術大会 (本部学術大会)  (第34回 中国・四国 支部大会併催)	平成27年 9月21日(祝・月)～9月23日(祝・水)  大会長:窪木 拓男 岡山大学大学院 医歯薬総合研究科 『健康維持と口腔インプラント治療 -口腔インプラント治療のメリットを 再考する-』	ホテルグランヴィア岡山 岡山コンベンションセンター 岡山シンフォニーホール 岡山全日空ホテル 岡山シテイミュージアム	(学会事務局) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 前川賢治 〒700-8525 岡山県岡山市北区鹿田町二丁目5番1号  (運営事務局) (株)日本旅行 中四国コンベンショングループ 〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7-1階 TEL:086-225-9281 FAX:086-225-9305 Email:jsoi45@kyodo-mice.jp 大会HP: <a href="http://www.convention-w.jp/45jsoi">http://www.convention-w.jp/45jsoi</a>
第33回 九州 支部大会	平成28年 1月30日(土)～1月31日(日)  大会長:後藤昌昭 佐賀大学医学部歯科口腔外科学講座 『高齢社会に対応すべき インプラント治療』	佐賀市文化会館  〒849-0923 佐賀市日の出一丁目21-10 TEL:0952-32-3000 FAX:0952-32-3736	佐賀大学医学部歯科口腔外科学講座医局 山下 佳雄  〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1 TEL:0952-34-2397 FAX:0952-34-2044

## 新入会者紹介

(平成 27 年 1 月 9 日～平成 27 年 7 月 16 日)

### ▼東北・北海道支部

(北海道)

永井伯弥, 新田 恵, 山形摩紗, 田村正人  
伊藤博行, 瀬尾彩乃, 水野守道, 桂 範行  
津金澤秀樹, 加我公行, 後藤邦子, 菅 真理奈  
齋藤 彰, 内山聖也, 佐々木崇人, 古川真理絵  
高田紗理, 小野 隆, 笹川邦道, 坂田純一

(青森県)

澤田祐也, 成田健志

(岩手県)

杉村郁苗, 高橋 衛, 近藤正人, 安部 道  
齊藤章人, 八森 寛, 大森 巧, 高橋典子

(宮城県)

滝口晃嗣, Martinez de la Cruz Gerardo  
新家光雄, 倉内美智子, 岩間亮介, 熊光 崇  
大川博子, 高橋健一, 江副祐史

(秋田県)

安田真央, 三浦志織

(山形県)

片山圭司, 石坂圭識

(福島県)

赤沼龍一, 益子保英, 瀬谷真衣, 宗像佑弥  
野中康平, 高山智恵, 兼島靖彦, 島崎伸子  
船川竜生, 井ノ上靖尊, 岩橋みずほ, 浜田智弘  
星 朋美, 川口留里

### ▼関東・甲信越支部

(茨城県)

永井康之, 植松 寛, 田内友貴, 宮本順市  
篠崎 悟

(栃木県)

松田博之, 慶野大介, 本河生実

(群馬県)

丸山 拓, 原田 博, 宗村政明, 金子沙奈恵

杉山達也

(埼玉県)

山崎聡美, 栗原慎幸, 高橋明寛, 竹内千春  
井上勝元, 金 東淳, 木村 優, 四條恭子

関根和幸, 黄 綿求, 鈴木彩加, 大森裕斗

白河俊栄, 浅海友文, 浅賀信寛, 森田 薫

石川 潤, 小橋健史朗, 高橋明美, 竹部正浩

吉田直子, 清原優奈

(千葉県)

池田千鶴, 安岡はるか, 増田 光, 末光弘宜

松崎茂樹, 内山瑛理香, 北村英二, 小野 裕

石川 聡, 佐久間洋平, 鳩貝 翔, 齋藤智昭

佐瀬美和子, 富本洋太郎, 片桐健史, 石田雄大

都丸 誠, 坂田美幸, 高橋佑次, 岩崎隆行

吉田雄一郎, 近藤信太郎, 山本 孝, 谷本壮一郎

宇都宮忠彦, 槇坪孔明

(東京都)

平尾大介, 三浦 基, 野堀隆太郎, 三木裕仁

宇田川由希子, 関根美穂, 坂本安繁, 山本 希

大島健吾,	齊藤ゆみ,	石川剛史,	上妻 涉	田中雄一郎,	田宮隆弘,	吉沢夏樹,	武田純一
寺村早希,	安藤龍明,	保田知徳,	瀧本正行	小島康佑,	石川美樹,	立川輝彦,	下山智子
吉本光洋,	森田純晴,	緒方尚樹,	角田憲祐	若林千昭,	内野雄介,	緑野智康,	八木 亮
宇夫方雅代,	渡邊麻衣子,	佐藤維織,	浜口潤也	林 実,	山口智子,	沢井奈津子,	松本 潤
荻澤翔平,	米今一晃,	宮地 俊,	池田憲吾	亀井美里,	林 泰生,	湯原勘丞,	梅田和裕
小川智久,	景山正登,	松本美里,	山下耀子	金安拓朗,	川股亮太,	川西範繁,	清水伸之
鈴木恵子,	清水太陽,	柴崎真樹,	小川 貴	馬場美咲,	羽馬次朗,	日高亨彦,	柴 雅樹
三好敬太,	松村祐平,	本告知徳,	石島 学	川滝統一,	安田源沢,	角田恵美子,	佐川信正
小沼太郎,	遠藤恒人,	佐藤研二,	佐伯悦司	岡村有紀子			
齋藤康行,	江原弘剛,	風間文貴,	松野智宣	(新潟県)			
石川義継,	清原秀一,	坪田圭司,	伊藤準之助	川瀬知之,	横山和義,	稲野辺紫巳,	永井康介
福富 聡,	重松建吾,	山田健太郎,	野呂紫都那	山崎裕太,	片桐正央		
財部 舞,	旭 宣明,	島田惇平,	小宮一記	(山梨県)			
伴場紀子,	志田祐次郎,	木村哲朗,	五木田旬子	河阪明彦,	秋山友里,	石部元朗	
浅野一成,	本郷 拓,	小野智嗣,	平塚智裕	(長野県)			
下村昌弘,	中島孝輔,	川上紗和子,	七條正清	斉藤安奈,	堀 泰斗,	渡邊智之,	小池桃子
五十嵐幹人,	白鳥 満,	高橋治好,	久保慶太郎	寺島小夜子,	丸山美幸,	田中淳史,	倉田友宏
糸数宜礎,	荻野崇真,	佐藤陽子,	堀部耕広	鈴木大介,	横井 啓,	池田岳史,	大滝紘史
池田昌子,	瀬尾裕広,	樋口暢子,	木村亮介	櫻井伸一			
塚原明弘,	井上高暢,	柿木辰美,	正東脩平				
篠塚洸昂,	廣内英智,	菅 彩香,	森 一将	▼中部支部			
田口裕麻,	菅原圭亮,	中村浩崇,	安部友佳	(岐阜県)			
高橋真広,	岩本圭輔,	松本建吾,	野本冬歌	河村 亮,	渡邊 諒,	水谷雄一郎,	松岡亜衣子
那須真奈,	羽鳥友子,	三橋 学,	小嶋啓嗣	都尾元宣,	梅村聡美,	横井敬大,	鈴木孝司
衛藤 匠,	田口 慧,	武川佳世,	高橋久美子	新谷耕平,	有賀渚紗		
菊地 晶,	斉藤沙耶,	金澤尚義		(静岡県)			
(神奈川県)				三森崇正,	田代周平,	加藤健悟,	鈴木千秋
竹田 敦,	関口 晃,	安斉昌照,	奥田文俊	八木亮一,	山田 明,	村松亜耶,	徐 由里
関口寛人,	岡田健一郎,	椎原克寛,	田中公治	(愛知県)			
Tumurkhuu Tsasan,	日野容碩,	土居成良		西川 徹,	三浦佳奈,	安本美保,	前川明之
田島聖土,	澤田洋輝,	上野友也,	河合邦彰	小沢奈央,	渡邊裕文,	請井元美,	大橋靖史

長縄陵亮, 芝崎龍典, 西山航, 安藤康久  
大澤寛樹, 小木曾碧, 佐野良介, 森田大貴  
吉岡登史彰, 野口悦子, 柳瀬奈緒美, 二村修司  
山田有蔵, 野浪亨, 秋田貴子, 小野圭  
(三重県)  
岩本哲也

▼近畿・北陸支部

(富山県)

向澤彩, 坪井佳世子

(石川県)

定梶嶺, 林彦達

(滋賀県)

富森伸一郎, 南光勉, 野井将大, 田中義大

小佐々康, 古川美都子, 村井悠史

(京都府)

疋田泰種, 渡邊拓磨, 浅井啓太, 渡邊崇光

丸尾将太, 中村泰之, 中尾一祐, 喜早ほのか

松田彩起子, 牧野歩美, 奥田由佳, 小林大介

(大阪府)

新井貴三, 關利啓, 濱口真弓, 奥佳葉

入江裕介, 江原杏子, 川口哲矢, 上杉聡史

櫻井智章, 浜西伸兒, 向井隆雄, 西村誠

榎木加奈, 内田卓弥, 米田万里, 盛林昭仁

山本佳代子, 沢田啓吾, 林翔子, 平井宏明

田中悠己, 天羽樹, 桑原彩加, 伊藤善博

垣内優一, 細坪佑惟, 谷口真一, 富久藍子

渡邊翔太, 竹村愛, 松村淳史, 寺西祐輝

八田昂大, 竹中廣一, 蓮井恵理, 井上将樹

関本静加, 松下登, 高山勝雅, 朴成泰

大月基弘, 原寛之, 中村信一郎, 渡部克宣

阪本勇紀, 前原美保, 山田秀史, 豆野智昭

千崎達矢, 大下麻依, 近藤ありさ, 澤井文歌

土山侑子, 小林信博

(兵庫県)

志賀綾美, 岡村知彦, 玉岡丈二, 大平真司

奥野裕紹, 田中俊行, 森岡亮, 江本元

永井康熙, 井口一也, 長瀬大地, 藤田恭平

石川佳恵, 三浦永理

▼中国・四国支部

(鳥取県)

宮本健志

(岡山県)

沼本賢, 石津泰彦, 國友由理, 野村優

片井妙子, Sebald Walter, Khattb Hany

佐々木祥子

(広島県)

杉野佳名子, 野見山七恵, 清水賢, 五藤博之

岩田慧, 岡崎昌太, 保田啓介

(山口県)

松下大介, 吉良真弓, 林胡ノ架

(徳島県)

Widyasri Prananingrum, 仲雄一, 松本知恵美

(香川県)

西谷愛莉, 白崎晃江, 宮寄亮

(愛媛県)

森岡慶一, 井手正仁, 小林英樹, 佐野真由美

▼九州支部

(福岡県)

長尾令衣, 小谷隆真, 宮園祥爾, 矢野良佳

赤間 圭, 有田忠充, 清水健介, 宮田沙知  
 山口博文, 今泉友孝, 胡 江琪, 松下智美  
 上田将之, 磯遊礼美, 松本嘉子, 道津友里子  
 西岡智世, 力丸哲哉, 妹尾宗一郎, 水蘆恭治  
 大村より子, 津覇雄三, 河村道彦, 周 天任  
 今井実喜生, 吉川英治  
 (佐賀県)

宮田華菜美, 黒田 礼, 福島淳司, 久米慶樹  
 森 あずさ, 末永乃子, 金 慧娟  
 (長崎県)

梅林真由美, 檜原 峻

(熊本県)  
 前泊麻衣, 立花ちさと, 倉永晴子, 國武しほり  
 山田清彦, 吉野貴子, 渡邊裕平, 秋山花菜絵  
 熊野 毅  
 (宮崎県)  
 中竹由紀子  
 (鹿児島県)

牧角麻未, 比志島 剛, 堀之内雅弘, 村上寿理  
 内野慎一郎, 永瀬幸治  
 (沖縄県)

岡村健司, 平林孝将

(以上 515 人)

訂正とお詫び

インプラントニュース第 21 号の表彰者紹介において、15 頁の淵上 慧先生の氏名・演題名に間違いがありました。お詫び申し上げますとともに、以下訂正いたします。

(誤) 氏名 淵上 慧先生

所属「東京医科歯科大学大学院歯学研究科口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴科」  
 演題名「インシュリン様成長因子 - I を用いたインプラント周囲における上皮封鎖性の向上」

(正) 氏名 淵上 慧先生

所属「東京医科歯科大学インプラント・口腔再生医学分野」  
 演題名「インプラント周囲骨吸収に関する臨床的検討」

広報委員会からのお知らせ

前年度から引き続き塩田 真(東京医科歯科大学)が委員長を務めます。現在の広報委員会のメンバーは以下の通りです。

委員長：塩田 真 副委員長：市川哲雄

委員：山森徹雄, 北川 昇, 嶋田 淳, 内藤宗孝, 山内六男, 十河基文, 添島義樹

広報委員会はニュースレターとホームページを通じて会員の皆様に学会の情報を素早く正確に伝達するよう努力致します。とくに今年度は広告可能な専門医取得に向けて広報の立場からサポートしていく所存です。御意見、ご要望等ございましたら、以下の連絡先にご連絡下さい。

〒 113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学インプラント・口腔再生医学分野  
 塩田 真

電 話：03-5803-5774

ファックス：03-5803-5774

メールアドレス：mshiota.impl@tmd.ac.jp

インプラント学会

## 目次

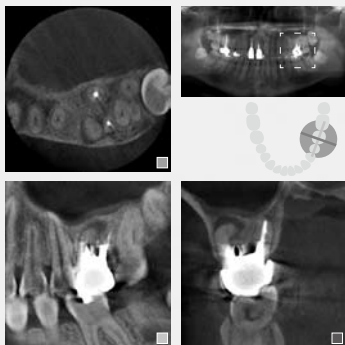
第45回学術大会開催の挨拶	1
第45回学術大会プログラム	2,3
研修施設変更・新設	4
平成26年指導医合格者	4
平成26年専門医合格者	4
平成26年度専門歯科衛生士合格者	4,5
平成26年度専門歯科技工士合格者	5
第6回関東・甲信越支部 学術シンポジウム報告「超高齢社会とインプラント」	5,6
指定研修施設紹介	
九州インプラント研究会	6,7
兵庫医科大学歯科口腔外科	8
「インプラントカード」の紹介	9
IADR IRG-JSOI New Investigator Research Awards の創設	10
平成27年度学術大会一覧	11
新入会者紹介	12～15
広告	16
目次	16

Thinking ahead. Focused on life.

# Debut Veraviewepocs 3Df 40e

ベラビュー エポックス

CT撮影、パノラマ撮影、セファロ撮影が1台で可能な Veraviewepocs 3Df シリーズに、画像の精細さと撮影の簡単さはそのままに、機能を絞ることで低価格化を実現した Veraviewepocs 3Df 40e が新登場。CT撮影はφ40×H40mmとφ40×H80mmの2種類のFOVを選択することができます。



発行 株式会社 モリタ 大阪本社：大阪府吹田市船場3-33-18 F504-8860 TEL 06-6380-2625 東京本社：東京都台東区上野2-11-15 F110-8513 TEL 03-3834-6161  
製造販売 株式会社 モリタ製作所 本社工場：京都府京都市伏見区東津島町680 F612-8533 TEL 075-611-2141 久御山工場：京都府久世郡久御山町市田新築190 F613-0028 TEL 0774-43-7891  
販売名：ベラビュー エポックス 標準価格：3Df-40e 14,800,000円～（消費税別） 2013年6月21日現在 一般的名称：アナログ式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置  
機器の分類：管理医療機器（クラスII） 特定保守管理医療機器 医療機器認証番号：209008Z200259000

Morita Global Site: [www.morita.com](http://www.morita.com)